



PUBLIC MAGAZINE

パブリック マガジン

第446号

発行 上士幌町農業協同組合

編集 営農振興部営農振興課

印刷所 上士幌印刷

かみいほろ



上士幌町女性まつり 記念撮影

目次

- | | |
|---|--|
| P 1 …… 第55回畑作振興会定期総会開催 | P 10 …… J A 青年部酪農部会管内視察研修実施
J A 青年部酪農部会学習会を実施 |
| P 2 …… 第28回大豆収穫利用組合定期総会開催 | P 11 …… J A 青年部消流地視察研修を終えて |
| P 3 …… 第39回野菜生産組合定期総会開催 | P 12 …… フルーツパラダイス |
| P 4 …… 理事会だより | P 13 …… 農事組合長会議開催 「哺育管理セミナー」開催 組合員の皆様へ |
| P 5 …… 第33回上士幌女性まつり | P 14 …… J Aグループ北海道の農政活動強化に向けて なくそう食品ロス |
| P 6 …… J A 女性部 J A 役員との意見交換会開催
すずらん会 1月例会 家の光 | P 15 …… J Aグループ北海道の農政活動強化に向けて 行事予定 |
| P 7 …… フレッシュミズ部会冬季研修会
フレッシュミズ部会 1月研修会 | P 16 …… 令和7年度人間ドックのご案内 |
| P 8 …… J A 女性部 J A 十勝地区女性協議会研修会開催
脳トレ！手足の体操 | P 17 …… 春のお買い得情報!! |
| P 9 …… J A 青年部一夜研修会・全体交流会開催
J A 青年部士幌線ブロック役員研修会
J A 青年部 J A 役員との意見交換会開催 | |



二月五日、上士幌町畑作振興会（齊藤雄司会長）の第十五回定期総会が農協会議室にて開催された。
齊藤会長の挨拶に続いて、高橋組合長より祝辞が述べられた。
上士幌支部の小林悠樹氏が議長に選任され、議事・進行を務めた。



第55回

畑作振興会定期総会開催

品質向上・コスト削減・安全な農作物生産を

全議案原案通り承認され、今後も食の安全・安心確保、主要農作物の品質向上、ジャガイモシストセンチュウ蔓延防止などの対策に取り組み、安定多収・適正施肥に務め、コスト低減を追究しながら所得の維持・向上を図ることを確認した。
また本年は役員選考が行われ、遠山昇治氏が会長に選任された。

新役員体制

- | | |
|------|-------|
| 会長 | 遠山昇治 |
| 副会長 | 大江新太郎 |
| 監事 | 泉野和昭 |
| 理事 | 関口孝典 |
| 上音更 | 舟根忍徳 |
| 上士幌 | 坂田敦彦 |
| 北居辺南 | 白井真貴 |

共励会成績発表

- | | |
|------|-------|
| 北居辺北 | 大川原拓哉 |
| 東居辺 | 楠政幸 |
| 北門 | 佐藤壮 |

・食用馬鈴薯

- | | |
|------|------|
| 最優秀賞 | 泉田貴昌 |
| 優秀賞 | 高橋農場 |
| 優良賞 | 丹羽洋平 |

・加工馬鈴薯

- | | |
|------|------|
| 最優秀賞 | 兼子政信 |
| 優秀賞 | 泉田澄夫 |
| 優良賞 | 藪根豊 |

・てん菜（移植）

- | | |
|------|------|
| 最優秀賞 | 齊藤農場 |
| 優秀賞 | 遠山農場 |
| 優良賞 | 泉田和寛 |

・てん菜（直播）

- | | |
|------|-------|
| 最優秀賞 | 高橋農場 |
| 優秀賞 | 鳴木勝美 |
| 優良賞 | 大江新太郎 |

・小豆

- | | |
|------|------|
| 最優秀賞 | 鈴木一志 |
|------|------|

・大豆

- | | |
|------|-----------|
| 最優秀賞 | 長屋政一 |
| 優秀賞 | 大江新太郎 |
| 優良賞 | 榎十勝あけぼの農場 |

・菜豆

- | | |
|------|------|
| 最優秀賞 | 大平農場 |
| 優秀賞 | 佐藤繕規 |
| 優良賞 | 佐藤達弥 |

・小麦（個人）

- | | |
|------|------|
| 最優秀賞 | 楠政幸 |
| 優秀賞 | 松岡英樹 |
| 優良賞 | 遠山農場 |

・小麦（団体）

- | | |
|------|----------|
| 最優秀賞 | 東居辺麦作集団 |
| 優秀賞 | 北門麦作集団 |
| 優良賞 | 北居辺南麦作集団 |





第28回

大豆収穫利用組合 定期総会開催



楠組合長挨拶

二月七日、大豆収穫利用組合（楠政幸組合長）の第二十八回定期総会が農協会議室にて開催された。

楠組合長の挨拶の後、来賓の高橋組合長より祝辞が述べられた。

楠組合長が議長を兼任し議事進行を行い、全議案原案通り承認された。

上士幌町の大豆は根菜類を基調とした輪作体系の見直しと、経営規模拡大による労力の軽減を図る為、省力化・低コスト対策として平成七年度から汎用コンバインが導入され、安定的な作付と収穫体系が確立された事により大豆作付面積も年々増加し、基幹作物として定着した。



総会の様子





大川原組合長挨拶

二月七日、上土幌町野菜生産組合（大川原拓哉組合長）の第三十九回定期総会が農協会議室にて開催された。

大川原組合長の挨拶の後、来賓の高橋組合長より祝辞が述べられた。

議長は大川原組合長が兼務で行い、全議案原案通り承認された。

令和七年度も畑作経営の中における野菜生産が今後さらに発展する様、労力対策・生産コスト低減対策に取り組むとともに、品質向上に向けた生産技術の確立を図りながら、より一層の所得確保と向上を目標として取り組むことを確認した。

また、本年は役員選考が行われ、楠圭太氏が会長に選任された。



第39回

野菜生産組合

定期総会開催



総会の様子



新役員体制

組合長 楠 圭太
副組合長 松岡 英樹
監事 早坂 拓



理事会だより

第11回理事会

令和6年12月16日

報告事項

1. 内部監査報告について
2. 組合員の加入について
3. 農事組合長会議の開催について

議案第2号

役員報酬審議会への審議諮問について

議案第3号

理事に対する資金貸付の報告について
 令和6年度豆類取扱調製状況について
 馬鈴薯各種等級格差金の支払いについて
 令和6年度野菜取扱状況について

協議事項

1. 上土幌町新年交礼会について
2. 上土幌町農業振興審議委員の推薦について
3. 上土幌町農業委員会委員候補者の団体推薦について
11. 上土幌町ナイタイ高原牧場指定管理について

第12回理事会

令和7年1月24日

報告事項

1. 第3・四半期監査報告について
2. 会計監査人の再任について
3. 内部監査報告について
4. 2月以降の行事予定について

議案第1号

役員報酬審議委員の委嘱について

議案第2号

退職者再雇用規程の一部変更について

議案第3号

公用印管理規程の一部変更について

議案第4号

信用事業方法書（金融機関等の業務の代理又は媒介）の一部変更について

協議事項

10. 理事に対する資金貸付の報告について
11. 令和5年度小麦共同計算の精算結果報告について
12. 澁原馬鈴薯共同計算における令和4年度精算結果及び令和5年度・令和6年度追加仮渡金の報告について

第13回理事会

令和7年2月10日

報告事項

1. 内部監査報告について
2. 組合員の加入について
3. 関連会社の財務状況について
4. 令和7年度営農計画書協議結果について
5. 令和7年度農薬価格について

議案第1号

人事労務基本方針の制定について

協議事項

1. 令和7年度収支計画基準について
2. 令和7年度地域懇談会開催資料の検討について





第33回 上士幌女性まつり

レクリエーションで楽しい一日を!



布谷部長挨拶

J A 女性部（布谷桂子部長）は二月三日、山村開発センターで第三十三回上士幌女性まつりを開催した。

趣向を凝らしたレクリエーション、手作りの作品・加工品の展示も行われ、四十五名が参加した。

十時三十分からの開会で布谷部長より「日頃の運動不足を解消し、楽しい種目や手作りの作品・加工品の展示もあるので今日は有意義な時間にしましょう。」と挨拶。続いて来賓のJ A 上士幌町高橋代表理事組合長、上士幌町竹中町長、上士幌町教育委員会小堀教育長より祝辞が述べられた。



ラジオ体操の様子

まず始めにラジオ体操を行い、その後、レクリエーションが始まった。

今年、〇×クイズや六種目のプログラムで競い合い、参加者は悪戦苦闘しながらもチームの仲間や子ども達の声援のもと、競技に熱中していた。

部員らが仕事の合間に丹精込めて作り上げた手芸品や加工品が出品され、作品展示コーナーで部員同士作り方を教え合うなどの場面が見られた。

閉会式ではレクリエーションの成績発表が行われ、北門チームが優勝に輝き記念品が手渡された。



〇×クイズ 勝者



優勝 北門チーム



晴れドキドキアンブレラ 種目



ドキドキバランス缶リレー 種目



豆で達者で 種目



意見交換会の様子

JA女性部（布谷桂子部長）は、一月二十三日農協会議室においてJA女性部役員とJA役員との意見交換会を行った。

開会にあたり高橋組合長より挨拶が述べられ、意見交換会へと移った。

各支部から上がった身近な問題や農協事業に関わる質問など幅広い意見が飛び交い、充実した意見交換会となった。



JA女性部
JA役員との
意見交換会開催

すずらん会

1月例会

高齢期の健康づくり講座



講師 林 美里氏

JA女性部すずらん会（根本佐代子会長）は、1月27日、農協会議室で1月例会を開催した。

今年は、NPO法人ソーシャルビジネス推進センター健康運動指導士林美里氏を講師に迎え、まる元体操を行った。

部員10名が参加し、頭を使った体操やボールを使ったストレッチなど行った。

参加した皆さんは真剣に話を聞き、時に笑いもあがりながら充実した講習会となった。講習会終了後は参加者皆でお弁当を食べ、会員同士の交流を深めていた。



まる元体操の様子



家の光

3月号の読みどころ

そろそろ考えたいわたと家族の介護

できていたことが出来なくなる、お金や時間がかかる、家族が気兼ねする…。介護はされる側、する側共にさまざまストレスを抱えます。ストレスの少ない「幸せな介護」について考えてみませんか。

4月号予告

耕作放棄地から始まる！

全国で増え続けている耕作放棄地は地域にとつての悩みのひとつですが、うまく活用することで、新たな価値を生み出し、農商工連携や新規事業開発など地域活性化につながっている事例もあります。耕作放棄地から始まる地域や農業者の「元氣」ストーリーを伝えます。

フレッシュミズ部会

冬季研修会



「ローストチキン・フルーツサンドづくり」



ローストチキンづくりの様子



フルーツサンドづくりの様子

J A女性部フレッシュミズ部会（伊藤早紀部会長）は12月17日、食品加工センターで冬季研修会を開催した。

同じ上士幌町で農業を営み家庭を預かっているフレッシュミズ部会の交流を目的に活動しており、今回の研修は8名が参加しローストチキンとフルーツサンド作りを行った。

食品加工センター職員の指導の下、2班に分かれて手際良く作業が進められた。出来上がったローストチキンとフルーツサンドは参加者で分けて解散となった。



フレッシュミズ部会

1月研修会



「家族でつくろうかまくら作り」



J A女性部フレッシュミズ部会（伊藤早紀部会長）は1月25日、上音更コミュニティーセンターにて一月研修会を開催した。

1月研修会にはフレッシュミズ部会員を含めた15名が参加した。例年より雪が少なく予定していたかまくらは作ることができなかったが、家族で雪だるまを作ったり、そり遊びをしたり雪遊びを楽しんでいた。その後懇親会を行い解散となった。

懇親会時はそれぞれの日々の子育てや営農について等情報交換を行っていた。



雪だるまづくりの様子

JA 女性部

JA十勝地区女性協議会研修会開催

JA十勝地区女性協議会は十日十日〜十一日、十勝幕別温泉グランヴィリオホテルでJA十勝地区女性協議会研修会を開催し、本町からは五名が参加した。

懇親会では、美味しい食事を堪能し、十勝管内の女性部との交流を楽しんだ。各単組から特産品を持ち寄り豪華景品をかけたクイズ大会が行われ、会場を大いに沸かせていた。

十日目は、避難所運営ゲーム『DOはぐ』を行った。災害時にどのように行動するかを考え、グループごとに色んな意見が飛び交っていた。防災情報の知識を学び、女性部員は地域の避難所運営委員となることも想定されることから、避難所運営を行う場合どのような事態が発生するか体験した。



JA女性組織綱領朗読



講師 女性南極料理人 渡貫氏



避難所運営ゲーム「DOはぐ」の様子



二日目は、避難所運営ゲーム『DOはぐ』を行った。災害時にどのように行動するかを考え、グループごとに色んな意見が飛び交っていた。防災情報の知識を学び、女性部員は地域の避難所運営委員となることも想定されることから、避難所運営を行う場合どのような事態が発生するか体験した。



脳トレ！ 手足の体操

疲れを取る体操で熟睡へ

知らず知らずのうちにたまっていくのが疲れです。頑張り屋さんほど心身をいたわる時間を取ることを忘れてがち。今回は、その日の疲れはその日のうちに取り、良質な睡眠へと導く体操をご紹介します。

寝付きが悪いときは、就寝前に手足の血行を促進して温めると安眠を誘うようです。指先包みの体操に足指の動きを加えて、全身の血行を促進させます。これにつぼ刺激を組み合わせて疲れをさらに癒やします。手足が温まり、気持ち良いと思う程度に繰り返しましょう。

指先包みと足指体操



(1) 手のひらを合わせて上下にごすります。右手を上にならしたところで、右手の指先を曲げて、左手の指先を包み込むように握ります。同時に、右足の指を曲げます。

(2) 右手の指先を伸ばし、手のひらをこすっていく、左手を上にならしたとき、左手の指先を曲げ、右手の指先を包み込むように握ります。同時に、右足の指を伸ばし左足の指を曲げます。



(応用) ゴルフボールやクurlミを用意し、足を動かしながら、足の裏で転がせばつぼ押し効果も期待できます。

健康生活研究所所長 ● 堤 喜久雄

JA 青年部

一夜研修会 全体交流会開催



交流会の様子



研修会の様子

J A 青年部（増田優造部長）は、二月六日〜七日にかけて一夜研修会を開催した。当日は二十名の部員が出席し、はじめに農協事務所会議室で安全講習会を実施した。農作業安全講習として、十勝農業普及改良センター十勝北部支所 地域第一係長 笠井千会氏を招き、農作業事故の事例や日常の農作業において気を付ける点などについて研修を受けた。

その後、帯広市のボードゲームカフェ the L i t に移動し、全体交流会が行われた。ゲーム中は数多くの会話が飛び交い、大いに盛り上がりを見せながら部員たちは楽しい交流会を過ごした。

全体交流会後は市内にて懇親会が行われ、ボードゲームで勝ち進んだ部員へ賞品が手渡された。その後、部員同士交流を深めるなど非常に楽しい時間を過ごした。

JA 青年部

士幌線ブロック 役員研修会



十二月十二日、J A 青年部士幌線ブロック役員研修会がJ A 鹿追町の主催で開催され、北海道農業・農村の動向についてと題し講師として十勝総合振興局産業振興部農務課から主幹 千葉邦博氏・農業経営係長 黒柳博之氏・農業経営係 技師 下島小麦氏を招き研修会が行われた。

士幌、音更、木野、鹿追、上士幌の五J A の役員が集い、研修会ではグラフを用いて十勝農業を中心に北海道農業の各分野の動向を学んだ。五単組から多くの質問が飛び交うなど青年部役員にとって貴重な研修会となった。

その後、懇親会へ場所を移し、単組の役員がそれぞれ交流を深め、今後につながる良い場となった。



JA 青年部

J A 役員との 意見交換会開催

J A 青年部（増田優造部長）は、一月二十七日に農協事務所三階会議室においてJ A 役員との意見交換会を開催した。今年も青年部全部員を対象とし、役員を含む十三名の部員が参加した。

開会にあたり高橋代表理事組合長より挨拶を頂き、その後増田部長の挨拶で開始した。

今回の意見交換会は、事前に農協側に質問していた資料と令和七年度の農協事業について協議された。今回の意見交換を踏まえ今後の農業の担い手である青年部世代として勉強になり、良い経験の場となった。

増田部長は「今回の意見交換会では、青年部内外における課題について広く協議することができ、とても有意義な時間となった。今後関係機関との連携を密にするためにも様々な意見交換の場を設けていくよう事業を展開していきたい。」と話していた。



意見交換会の様子

JA 青年部

酪農部会 管内視察研修実施



よつ葉乳業にて記念撮影

一月三十日にJA青年部酪農部会（高木俊樹部会長）は管内視察研修を実施した。視察先であるよつ葉乳業十勝主管工場を視察した。北海道協同乳業株式会社（現よつ葉乳業株式会社）は太田寛一氏によって昭和四十二年（一九六七年）に、十勝管内の八つの農協が中心となり、農民資本の乳業会社として設立された。同年には乳製品工場（現十勝主管工場）が完成し、釧路市・紋別市・浜頓別町・千歳県にも工場を設け、「よつ葉」ブランドの牛乳・乳製品を全



視察の様子

国に届ける総合乳業メーカーへと発展していった。昭和六十二年（一九八七年）にはブランド名と社名を統一し「よつ葉乳業株式会社」となり、現在では一般消費者向けの製品のほか、バターや生クリーム、脱脂粉乳など業務用乳製品の分野で日本全国の四分の一のシェアを占めている。

参加した青年部員は、これからも関係性が高いよつ葉乳業の歴史に触れながら知識向上を図り、今後の営農で活かせるとても充実した研修となった。

JA 青年部

酪農部会 学習会を実施



高木部会長挨拶

JA青年部酪農部会（高木俊樹部会長）は一月二十一日に学習会を実施した。



学習会の様子

当日は十一名の部会員が出席し、北海道農業共済組合 上士幌診療所より内山豪氏を招き、「蹄病について」をテーマに学習会を行い、蹄病の基本知识・跛行の見方・制御とコントロールについて学んだ。蹄病が酪農経営に与える影響や動画を交えた跛行スコアの見分け方など、新しい知識を吸収し、学習会に参加した青年部員は真剣な表情で学び、多くの質問が出るなど有意義な学習会となった。



JA青年部

消流地視察研修を終えて

荒井 峻也・猪狩 裕平・阿部 翔太

令和七年一月十四日〜十六日の二泊三日でJA青年部主催による消流地視察研修が行われ、今年度については酪農部会より荒井峻也・猪狩裕平・阿部翔太の三名で参加して参りました。視察研修中の九州の天候は晴天に恵まれた三日間となりました。

一日目は帯広空港から羽田空港を経由し、宮崎空港には予定通り午後五時頃に到着しました。到着後はホテルへチェックインを済ませ、繁華街の飲食店にて宮崎県の郷土料理を堪能し、移動の疲れを癒やし終了しました。二日目は午前九時頃にレンタカーを利用しホテルを出発しました。目的地である、臼白水舎乳業に向かい、午前九時二十頃



高千穂牧場で記念撮影

に到着し、視察を行いながら担当者より臼白水舎について説明をいただきました。白水舎の創業のきっかけは、初代社長の都成伸二氏が、アメリカのカルフォルニアに渡り、現地で酪農に触れた事がきっかけとなり大正八年に宮崎市高松町で酪農をスタートしました。当時まだ牛乳を飲む習慣がなかった人たちに、都成伸二氏が「牛乳は命の白い水じゃ」と言いながら営業をしていたことから、社名が白水舎となったとお話を頂きました。また、白水舎の営業方針は「乳」で皆さまの健康に貢献し、牛乳には人工的なものを一切足さないことを創業当時から変わらずに続けているそうです。初代から一貫して、生乳にこだわ

り、牛乳製造を行ってきた結果、現在は三代目となり、質の良い生乳を使用してさらに牛乳の良さを広めたいとの考えからオリジナルのソフトクリームを開発し、人気商品となっているそうです。

り、牛乳製造を行ってきた結果、現在は三代目となり、質の良い生乳を使用してさらに牛乳の良さを広めたいとの考えからオリジナルのソフトクリームを開発し、人気商品となっているそうです。

創業以来から宮崎の高品質な生乳を生かした牛乳や乳製品の開発に一貫して取り組み続けており、二〇十四年には世界に一つしかない牛乳甘酒 百白糍を開発し、ビューティアワード二〇十五大賞を受賞されました。他社にはないところや大手の会社が行わないことに着目し、独自のスタイルを追いながら沢山の新たなチャレンジを日々行いながらも多くの方々に安心して安全な牛乳と乳製品を味わって頂きたいとお話いただきました。その後、高千穂牧場へ移動しました。高千穂牧場は平成三年に酪農体験型の施設としてオープンし、酪農事業を主体とした業務運営を行うと同時に物販・飲食・製造部門を運営しているそうです。高千穂牧場では、ジヤージ、ガーンジー、ホルスタイン種の乳牛を飼養しており、それぞれの品種の特性を生かした製品を製造し、展示販売しています。



牧場でのふれあいの様子

こと、自然と触れ合う機会の少なくなつた子供たちが、牧場で動物や草花との触れ合いを通して、生命や酪農の大切さを学んで欲しいとご説明を頂きました。高千穂牧場の総敷地面積は四十二haで、売店やレストラン、牛乳・乳製品製造施設、家畜飼養施設、家畜糞尿処理施設を備えており、乳用牛の飼育状況としては経産牛が六十一頭、育成牛が二十九頭の計九十頭飼育されています。その他にも、馬や羊、ウサギも飼育されているなど幅広い動物達と触れ合える牧場だと感じました。以上で視察先への訪問が終了し、翌日に北海道へ帰省しました。研修中は事故等何もなく、全員が無事に帰ってくる事ができ安心して



白水舎製品



↑宮崎県 伊勢海老



→宮崎牛

今回、宮崎県を視察させていただき、私たちの農業形態や宮崎と異なる部分も沢山あり、非常に勉強になりました。この経験を農業後継者として今後の営農に活かしていきたいと改めて強く思いました。最後に、今回お世話になった多くの関係者の方々に感謝申し上げます。今後も農業情勢は厳しい環境が続きますが、農業後継者としての自覚を持ち、営農に邁進していきたいと思っております。



夏ミカン

初夏に楽しむ日本原産のかんきつ

夏ミカンのプロフィール

- 【分類】ミカン科ミカン属
- 【原産地】日本
- 【おいしい時期(旬)】4～6月ごろ
- 【主な栄養成分】ビタミンC、カリウム、クエン酸、ペクチンなど

選び方

へたが緑色でみずみずしい
全体的に濃い黄色
重量感がある
皮に傷や変色がない
張りがある

NG

- へたが灰色に枯れている
- 皮にしわ・割れ→美味が落ちているかも……

夏ミカンのナカヲ

ビタミンC
美肌効果や免疫力向上、ストレス緩和、疲労回復に

ペクチン
食物繊維の一種。せきやうのう腫(白い潰瘍)によく含まれる。便秘解消やコレステロール値の改善、糖尿病予防に

カリウム
高血圧予防やむくみの改善に

クエン酸
疲労回復・殺菌効果や食欲増進効果が

夏ミカンのいろいろ

甘夏
夏ミカンの枝変わり品種名は「川野なつだいびい」の夏ミカンに比べて酸味が少なく、優しい甘みと豊かな香りが1935年ごろに大分県の川野氏の農園で発見された

新甘夏
「甘夏」の枝変わりで甘みが強い「サンフルーツ」「ニューセブン」「用の瀬オレンジ」などの別名も

酸夏
「甘夏」の枝変わり。甘みも酸味も豊か。「甘夏」に比べ果皮や果肉の色が濃く赤みを帯びている。甘く酸味がまろやかで果汁がたっぷり

保存方法

常温保存
直射日光が当たらない冷暗所で保存する
1,2週間が目安
なるべく早めに食べ切ろう

冷蔵保存
乾燥を防ぐためにラップに包むか、ビニール袋に入れて野菜室へ
注意: 冷やし過ぎると低温障害を起こす
酸味が強い場合は、数日置いておくと食べやすくなる

食べ方・楽しみ方

皮のおまかせ
ナイフで少し切り込みを入れたらむきやすい
じょうのう腫も苦みがあるもので取り除く

ゼリー・ソース・シャーベットなど
色合いや甘酸っぱい風味で食欲増進
爽やかな酸味と香り、プチプチ食感を兼ねたビタミンCをより効果的に摂取できる
蜂蜜などをかけても

ジュースやスムージー
皮も果肉も全て利用できる
ヨーグルトやパン、ケーキにかける
酸味とほろ苦さがアクセントに

ドレッシングやソース
酸味が酢の代わりにもサラダや肉、魚料理に

夏ミカンのじみツ

産地
原産地: 日本
海苔に漬けた種子をまいて育てたのが起源といわれている。山口県長門市には指定樹齢100年の夏ミカンの原樹が存在している。

天然記念物
学名: summer orange
和名: ナツダイダイ(夏橙、夏巴夏)
前年の果実と今年の果実が同じ木で一緒に実ることから「バタ」と呼ばれる

農事組合長会議開催



十二月二十五日、令和六年度農事組合長会議が農協会議室にて開催され、開会にあたり高橋代表理事組合長より挨拶が述べられた。

その後、令和六年度の農協事業の進捗状況・概要について、本年は好天が続く作物全般に平年以上の作柄となった。農業情勢はインバウンドの回復傾向はあるものの、円安の進行による物価高騰の影響から、農畜産物の消費低迷に加え、生産資材等は高止まり状況にある。生産現場では、生乳生産抑制は緩和されたものの家畜販売価格低迷など、厳しい経営環境に置かれていることから、JA北海道グループが一丸となり安心して営農出来る環境整備を国に対し強く求めて行くことが必要とした。

次に令和六年度の各部の事業の進捗状況・概要についても報告され閉会した。



高橋組合長挨拶



会議の様子

一月十四日に農協会議室において、上士幌町内の酪農・畜産従事者を対象にした「哺育管理セミナー」を開催した。

講師に十勝改良普及センター十勝北部支所地域第二係長笠井千会氏を招き「哺育の基礎」と題し講座を行った。「哺育の基本となるポイント、道内の参考となる事例、最近の哺育管理に関する知見」等、わ



講師 笠井千会氏



「哺育管理セミナー」開催

今後とも様々な講座を開催する予定となっている。

かりやすい説明を受けた。参加した方からは、哺育で困っていることや、疑問に思っていることなど質疑応答を行い、有意義な講座となった。



哺育管理セミナーの様子

組合員の皆様へ

組合員資格に変動があった場合は、農協法の定めにより組合員の皆様が、届出しなければならぬ事となっておりますので、変動のある方は管理課までお届け下さい。

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第6回「東野ひでき北海道後援会の活動経過」について

過去の参议院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

北海道後援会では、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、各連合会・関係機関など東野ひでき氏の応援の輪を広げていくために、農政学習会等を通じて「なかまづくり運動」を展開してきました。

「ひできのなかまづくり運動」

「ひ」…ひとりでも多く! 「で」…できることから! 「き」…きょうから始めよう!

各々が、応援を依頼する「なかま」を確実に2名以上特定し、さらに、その「なかま」1名につき、新たに2名以上の「なかま」を特定し、「なかま」を広げていきましょう。

令和6年3月29日に東野ひでき北海道後援会を設立して以降、主に以下の取り組みを実施しております。

- JA総会・総代会にて東野の動画映写や組織結集に向けた決議等を実施。
- JA・連合会にて推薦手続きを完了。
- 道連常勤役員・地区会長他によるJA等巡回。
- 東野による全国連・全国機関、都府県連合会・JA等巡回を実施。
- 東野による道内各連合会、関係機関、取引先、JA等巡回(励ます会)を実施。
- 農政学習会の実施。
- 各種資材の活用。
(農政学習教材(資料・動画)、東野ひでき紹介動画、室内掲示用ポスター、リーフレット、運動推進ステッカー、名刺貼付用シールなど)
- JA広報誌での連載と北海道農政ジャーナルの発行。
- SNS(HP、LINE、Instagram、YouTube、Facebook)による活動報告。
- 青年部・女性部による東野ひでき親衛隊「動画大作戦」の実施。(毎月1回YouTube配信)



今後は、上記の取り組みに加え、屋外用政治活動用ポスターの掲示(野立て看板の設置)、東野出席のもと道内12地区の巡回等や、青年・女性組織の道・地区・単組段階での推薦手続き等を実施していきます。

農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

農政学習運動等を通じて組織選挙の意義を共有し、引き続き「なかまづくり運動」を広げていきましょう!

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参议院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(第7回)は、「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について報告します。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会



3月23日は世界気象デー。24年のテーマは「気候変動対策の最前線」でした。農畜水産物の生育を健全に保ち、自然災害を少しでも減らすために、食べられるのに捨てられる食品ロスをなくしていきましょう。

この暑さの一因が「食品ロス」だと
等級が落ちました。海水温が高く魚
が死んでしまう現象も起きました。

2024年の夏は暑かったです
ね。23年の夏も暑く、長野県で米
や野菜を作っている筆者の義父母
は「暑過ぎてサトイモが小さくなっ
ちゃった」と嘆いていました。

食品ロスを減らして温室効果ガスも削減

言ったら、意外に思うのではないで
しょうか。
気候変動の一因となる温室効果ガ
スを世界で最も排出している国の第
1位は中国、第2位が米国です。し
かし、世界中の食品ロスを合計する
と、この二つの国に続く第3位の温
室効果ガスの排出量となるのです。

世界200人近くの研究者が関
わったドローダウンプロジェクトで
は、地球温暖化を逆転させるベスト
100の方法が検証されました。二
酸化炭素の削減量や費用対効果など
で順位付けしたところ、100位
中、3位になったのが「食品ロス削
減」でした。26位の「電気自動車」
や43位の「飛行機の燃費向上」より、
食品ロス削減の方が順位が高かった
のです。それくらい、気候変動と食
品ロスは大きく関連しています。



なくそう食品ロス

食品ロス削減ジャーナリスト ● 井出留美

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第7回「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そのため、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

重要な当選順位

参議院選挙の比例代表には、様々な業界や団体が代表候補を送り出し、いかに多くの票数を獲得し、当選順位を上げるかということにどの団体も惜しみなく努力しています。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。

過去の参議院選挙(比例代表)

2019年の自民党の比例代表の得票数順位を見てみると、第1位は郵政グループで60万票獲得しており、JAグループは約21万票でした。結果、郵政グループは悲願だった「貯金預入限度額の拡大」を実現しています。一方、JAグループの得票数は2022年の選挙の際には18万票まで減少してしまい、このままでは私たちJAグループの声、要望を実現することが困難になる危機的状況に陥ることになります。

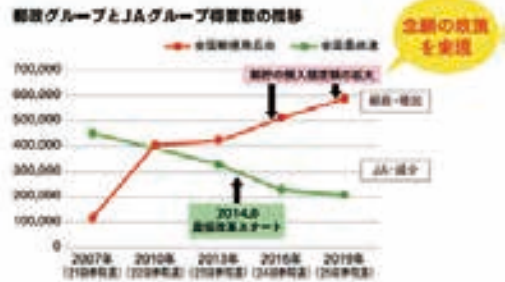
問われる組織力

このように選挙の結果、業界や団体ごとの得票数が分かります。市町村別にも得票数が公表されます。この得票数によって我々JAグループの力が測られることになります。つまり、参議院選挙(比例代表)は、我が国の農業、JAグループのための組織選挙であります。

組織力の結集を!

多くの得票数を得て高い順位で当選した候補者は、政府・与党内での発言力が増し、政策の実現可能性が高まります。過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(最終回)は、「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について報告します。



自民党 全国比例区 得票数順位(2019年)

団体・業界	得票数	議員名
1. 郵政	60万票	柘植芳文
2. (農産など)	54万票	山田圭一郎
4. 防衛関係	24万票	佐藤正久
5. 建設	23万票	佐藤信秋
7. JA	21万票	山田俊美

※2022年 18万票 藤木しんや



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

下旬	28日	25日	21日	17日	14日	10日	10日	1 ~ 4日	4月	25日	24日	18日	中旬	13日	10日	10日	5日	3月
農業廃プラ	乳牛市場	飼料定配	F1市場	育成市場	乳牛市場	飼料定配	和牛市場	決算業務		飼料定配	乳牛市場	F1市場	農業廃プラ	育成牛市場	乳牛市場	飼料定配	和牛市場	

行事予定



人間ドックのご案内

組合員及び家族の健康管理の一環として、人間ドックの健診事業を下記の日程により実施いたします。

今年度の人間ドックにつきましては、帯広厚生病院から**男性77名**、**女性65名**の述べ142名の健診枠が示されています。

年1回の受診をお勧めします。

- ◆ 受診対象 30歳以上
- ◆ 助成について 農協からの助成 ～ 30歳以上の組合員及び家族
町からの助成 ～ 40歳から74歳の国民健康保険加入者
及び高齢者医療制度加入者(主に75歳以上の方)

◆ 健診の申込取りまとめ **※3月上旬にご案内いたします。**

希望される方はご案内後、農協管理課までお申込み下さい。

※健診希望者が予定人数をオーバーした場合には、個別にご相談させていただきますので、ご了承下さい。

男性の日程	女性の日程
5月23日(金) 2名	10月16日(木) 1名
6月20日(金) 2名	10月17日(金) 1名
7月2日(水) 2名	10月27日(月) 6名
8月19日(火) 1名	10月29日(水) 1名
9月5日(金) 1名	10月30日(木) 12名
9月24日(水) 1名	11月5日(水) 2名
10月16日(木) 1名	11月14日(金) 4名
10月29日(水) 1名	12月16日(火) 7名
10月31日(金) 5名	12月24日(水) 3名
11月10日(月) 15名	1月7日(水) 4名
11月13日(木) 1名	1月15日(木) 3名
	1月21日(水) 3名

◆ 巡回ドックについて

令和7年5月1日～2日(2日間予定)・令和8年1月27日～1月30日(4日間予定)
本町(ふれあいプラザ)にて巡回ドックが行われますので、人間ドックを受診されない方は巡回ドックを受診されますようおすすめ致します。

なお、巡回ドックにつきましては18歳以上の方から受けることができます。町と農協からの助成があります。

日程が近くなりましたら、再度ご案内いたします。希望される方は、農協管理課、又は役場保健福祉課健康増進担当(電話2-4128)までお申込み下さい。

春のお買得情報

夏タイヤ 割引キャンペーン!!

期間：2025年4月1日(火)～2025年6月30日(月)

- * 夏タイヤ4本購入でBOXティッシュ5箱入り
2パック贈呈
- * 夏タイヤ購入で組み替え工賃・バランス調整・
脱着・ゴムバルブ交換 無料

※ただし、廃タイヤの処分とアルミバルブ交換については有料。タイヤ持ち込みにつきましては、お問い合わせ下さい。

期間：2025年4月1日(火)～2025年6月30日(月)

春のオイル交換キャンペーン!

- * オイル・エレメント交換セットでBOXティッシュ
2箱贈呈

洗車プリカカード〈特売〉

期間：2025年4月1日(火)～2025年4月30日(水)

- * 洗車プリカカード通常価格5,000円を**3,500円**で販売

ホクレン上士幌セルフ給油所
(TEL2-2038)